



令和元年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和元年8月13日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東
 コード番号 7676 URL <http://goodspeed-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年9月期第3四半期の業績（平成30年10月1日～令和元年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年9月期第3四半期	22,517	-	262	-	193	-	125	-
30年9月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年9月期第3四半期	119.74	114.97
30年9月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、平成30年9月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成30年9月期第3四半期の数値及び令和元年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成30年12月28日付で普通株式1株につき150株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 平成30年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
4. 当社株式は平成31年4月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、令和元年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から令和元年9月期第3四半期会計期間末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年9月期第3四半期	12,433		1,328			10.7
30年9月期	9,379		397			4.2

(参考) 自己資本 元年9月期第3四半期 1,328百万円 30年9月期 397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	-	0.00	-	1,500.00	1,500.00
元年9月期	-	0.00	-		
元年9月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

1. 当社は、平成30年12月28日付で普通株式1株につき150株の割合で株式分割を行っております。平成30年9月期の配当金につきましては、当該株式分割前の数値で記載しております。

3. 令和元年9月期の業績予想（平成30年10月1日～令和元年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	36.3	380	89.5	270	80.9	180	97.2	153.87

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- 業績予想の修正については、本日（令和元年8月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 当社は、平成30年12月28日付で普通株式1株につき150株の割合で株式分割を行っております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	元年9月期3Q	1,532,500株	30年9月期	900,000株
② 期末自己株式数	元年9月期3Q	-株	30年9月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	元年9月期3Q	1,047,573株	30年9月期3Q	-株

(注) 当社は、平成30年9月29日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を、平成30年12月28日付で普通株式1株につき150株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、平成30年10月から令和元年6月までの国内中古車登録台数は2,932,780台(前年同期比101.0%)と前年同水準の結果となりました。(出典:一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ)

このような状況の下、当社におきましては、東海地方のドミナント方式による専門店の出店を積極的に進め、平成30年12月に愛知県大府市に当社初の自動車買取専門店として「グッドスピード大府有松インター買取専門店」、平成31年2月に岐阜県大垣市に「グッドスピードMEGA 大垣店」をオープンするなど、中古車販売における小売販売の拡大及び自動車買取や整備・钣金、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は22,517百万円、営業利益は262百万円、経常利益は193百万円、四半期純利益は125百万円となりました。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの業績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしておりません。なお、当社は、前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(自動車販売関連)

愛知県大府市に「グッドスピード大府有松インター買取専門店」、岐阜県大垣市に「グッドスピードMEGA 大垣店」を出店したことにより、当第3四半期会計期間末の店舗数は18店舗となりました。また、小売販売台数は、6,919台となりました。

高品質かつ顧客ニーズにマッチした良質な車両の厳選仕入を行ったことに加え、新店舗2店の出店により、当第3四半期累計期間における売上高は21,555百万円となりました。

(附帯サービス関連)

自動車販売台数の増加に伴い、当第3四半期累計期間における売上高は962百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は8,825百万円で、前事業年度末に比べ2,092百万円増加しております。主な要因は、商品が1,428百万円、現金及び預金が546百万円、前払金が169百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は3,608百万円で、前事業年度末に比べ961百万円増加しております。主な要因は、新規出店・改装に伴い建物が269百万円、構築物が119百万円、土地が163百万円、車両運搬具が115百万円、保証金が59百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は8,573百万円で、前事業年度末に比べ2,154百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が1,260百万円、買掛金が351百万円、前受金が242百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は2,531百万円で、前事業年度末に比べ31百万円減少しております。主な要因は、長期借入金が増加した一方、社債が101百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,328百万円で、前事業年度末に比べ931百万円増加しております。主な要因は、資本金が407百万円、資本剰余金が407百万円増加したことなどによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、主に自動車販売の売上高が当初想定を上回って推移していることから、通期の業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(令和元年8月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,568,655	2,114,672
売掛金	472,502	439,390
商品	3,884,690	5,313,410
貯蔵品	1,475	1,427
前払金	531,282	700,735
前払費用	63,729	104,463
未収還付法人税等	47,972	-
短期貸付金	12,551	3,635
その他	149,834	147,937
流動資産合計	6,732,695	8,825,673
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	965,599	1,235,489
構築物(純額)	171,018	290,079
機械及び装置(純額)	16,094	44,053
車両運搬具(純額)	158,840	274,779
工具、器具及び備品(純額)	87,082	101,001
土地	430,532	594,061
リース資産(純額)	132,937	165,017
建設仮勘定	152,732	336,707
有形固定資産合計	2,114,838	3,041,190
無形固定資産		
ソフトウェア	7,737	7,366
リース資産	53,337	40,239
その他	28	28
無形固定資産合計	61,104	47,634
投資その他の資産		
出資金	180	190
保証金	348,519	407,757
長期前払金	22,947	26,331
長期前払費用	5,727	2,678
繰延税金資産	40,797	26,130
その他	52,997	56,359
投資その他の資産合計	471,169	519,449
固定資産合計	2,647,112	3,608,274
資産合計	9,379,807	12,433,947

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期会計期間 (令和元年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	378,999	730,932
短期借入金	3,975,745	5,235,838
1年内償還予定の社債	98,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	755,114	916,581
リース債務	50,336	55,305
未払金	63,257	56,531
未払費用	119,799	146,600
未払法人税等	-	73,913
前受金	856,550	1,098,872
預り金	45,675	66,213
賞与引当金	43,598	21,600
役員賞与引当金	2,200	-
その他	30,049	21,168
流動負債合計	6,419,327	8,573,558
固定負債		
社債	281,000	180,000
長期借入金	1,988,952	2,016,977
リース債務	160,355	177,951
資産除去債務	6,392	6,459
長期前受金	126,375	150,505
固定負債合計	2,563,075	2,531,892
負債合計	8,982,402	11,105,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	437,330
資本剰余金	-	407,330
利益剰余金	367,404	483,835
株主資本合計	397,404	1,328,495
純資産合計	397,404	1,328,495
負債純資産合計	9,379,807	12,433,947

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成30年10月1日 至 令和元年6月30日)
売上高	22,517,337
売上原価	19,545,802
売上総利益	2,971,535
販売費及び一般管理費	2,708,917
営業利益	262,617
営業外収益	
受取利息	550
受取配当金	1
受取手数料	8,077
保険金収入	8,236
助成金収入	1,123
協賛金収入	30
その他	7,253
営業外収益合計	25,274
営業外費用	
支払利息	69,482
支払手数料	20,152
その他	4,558
営業外費用合計	94,193
経常利益	193,698
特別利益	
固定資産売却益	691
特別利益合計	691
特別損失	
固定資産除却損	2,593
特別損失合計	2,593
税引前四半期純利益	191,795
法人税、住民税及び事業税	51,697
法人税等調整額	14,666
法人税等合計	66,364
四半期純利益	125,431

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(公募による新株の発行)

当社は、平成31年4月24日付で、有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による増資の払込みを受けました。また、令和元年5月27日付で、東海東京証券株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。これらの結果、当第3四半期累計期間において資本金が407,330千円、資本剰余金が407,330千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が437,330千円、資本剰余金が407,330千円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。